

港湾行政マネジメントに関する基本的な枠組みについて

1. 港湾行政マネジメントサイクルの確立に向けた検討事項
2. 港湾行政マネジメントの基本サイクルと検討事項について
3. 港湾行政マネジメントの導入イメージ

1) 港湾行政マネジメントサイクルの確立に向けた検討事項

SEE ACTION

施策改善・予算等の検討・フィードバック

CHECK

政策チェックアップ¹⁾(業績測定)
政策レビュー
事業評価(再評価・事後評価)
マネジメント評価

公表

PLAN

計画・目標等の設定
(社会資本整備重点計画、港湾計画等)

施策・実施事業選定
(新規事業採択時評価・再評価)

予算の決定

DO

事業・施策の実施

現場におけるマネジメント
改革

公表

導入済みプロセス

計画目標等の設定
施策・実施事業選定
予算の決定
事業・施策の実施
業績測定
政策レビュー
事業評価
施策改善・予算等の検討

新たな導入プロセス(案)

国民および使う側に立った指標の
整備(アウトカム指標)
現場におけるマネジメント改革
(日々の改善)
マネジメント評価
組織・予算・人事等へのフィード
バック

検討 : 行政の効率化、説明責任の履行、現場の改革に資するアウトカム指標の検討

誰(国民、ユーザー、現場等)にとってのどのような指標とするか？

マネジメントの単位や評価の単位をどのように考えるか？

指標の目標値設定や実績値のデータ取得体制はどうあるべきか？

検討 : アウトカム指標の達成度評価とマネジメントサイクル確立に向けた検討

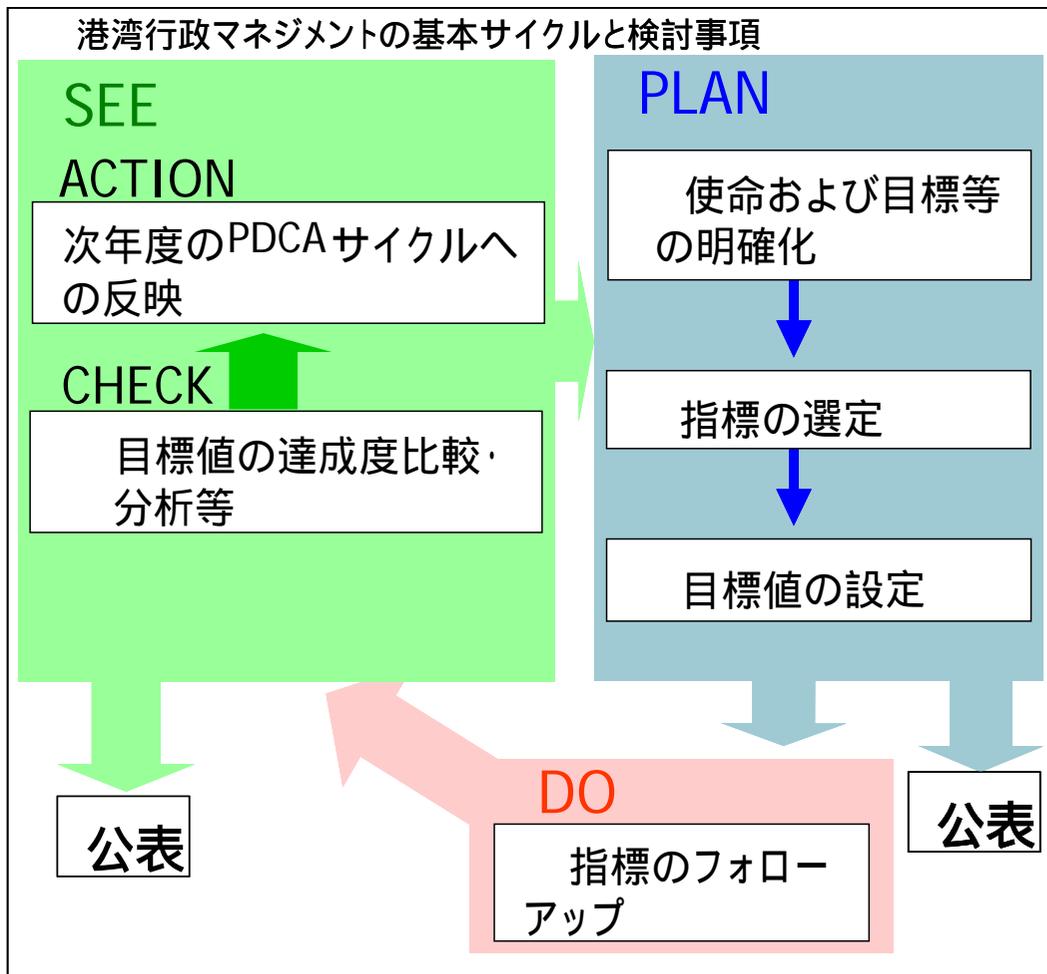
指標の達成度や未達成の状況をどう評価するか？

評価結果の予算などへのフィードバックをどう行うか？

評価の関連主体(国、港湾管理者、関係省庁等)に応じた評価はどうあるべきか？

2) 港湾行政マネジメントの基本サイクルと検討事項について

行政の効率化、説明責任の履行、現場改革の実現を目指した港湾行政マネジメントサイクルの確立を目指し、**これまでのサイクルに加えて下記を検討する。**



【 使命および目標等の明確化】

・港湾行政の使命、目標など戦略プランの明確化

【 指標の選定】

・アウトカムの流れ図(ロジックモデル)によるアウトカムの選定
 ・アウトカム指標候補の選出
 ・アウトカム指標の選出

【 目標値の設定】

・目標値の決定、合意の形成

【 指標のフォローアップ】

・データの収集方法、時期、保存等の検討
 ・指標のフォローアップ

【 目標値の達成度比較・分析等】

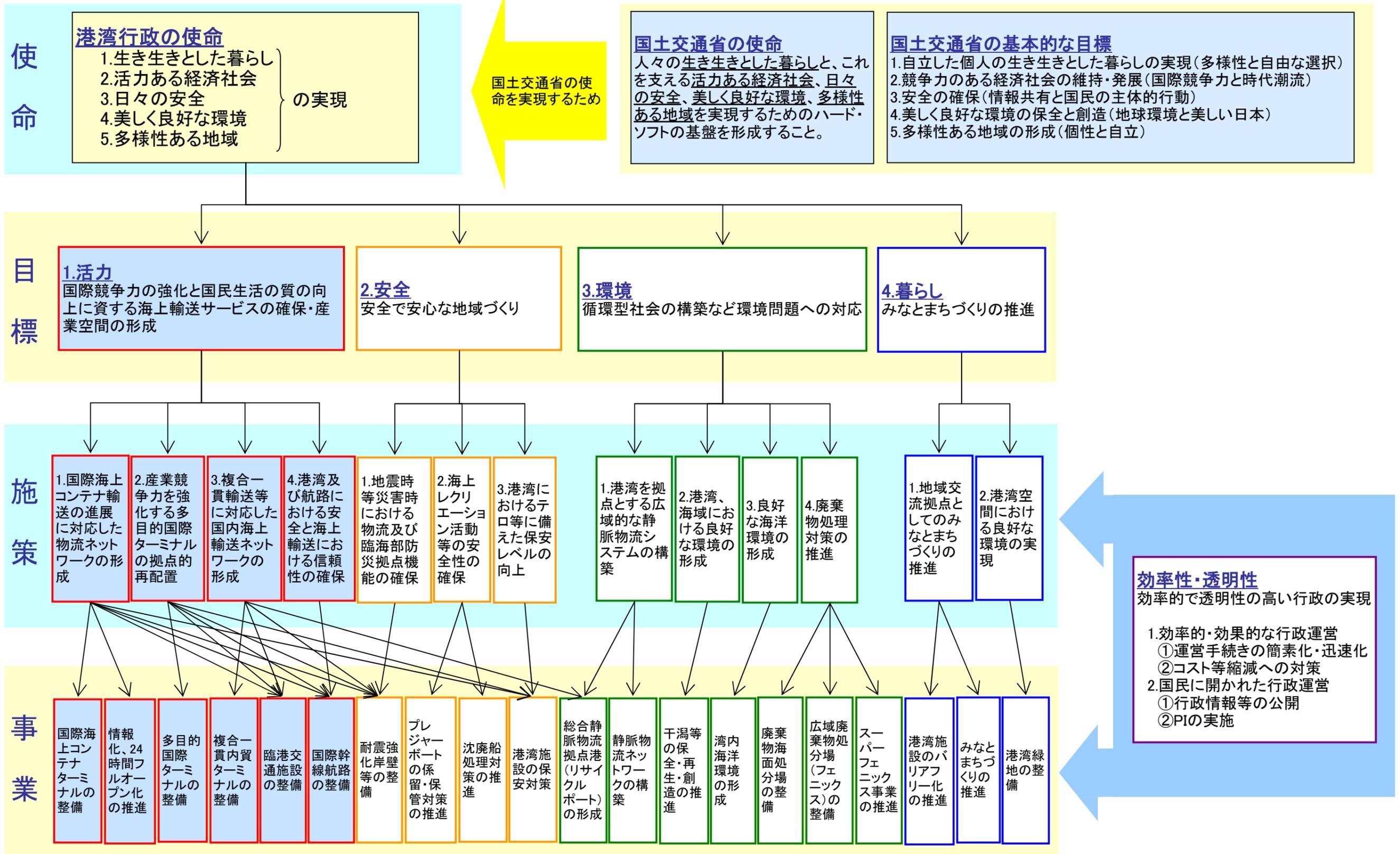
・目標値の達成度など、指標を比較・分析

第2回研究会

第3回研究会

第4回研究会

① 使命および目標等の明確化 (港湾行政の戦略プラン)



資料)「社会資本整備重点計画」、「国土交通省の使命、目標、仕事の進め方(H13.1)」などより作成

指標の選定手順(案)

(1) 港湾物流に関わる施策のアウトカムの流れ図(ロジックモデル)

- ・計画、施工、供用の各段階におけるインプット、活動(アクティビティ)、アウトプット、アウトカム

(2) アウトカムの選出

- ・特定の施策などが目指す結果を表すことができるアウトカム
- ・行政の効率化(競争原理、現場主義)に資するアウトカム
- ・国民への説明責任など(成果主義、顧客主義)に資するアウトカム

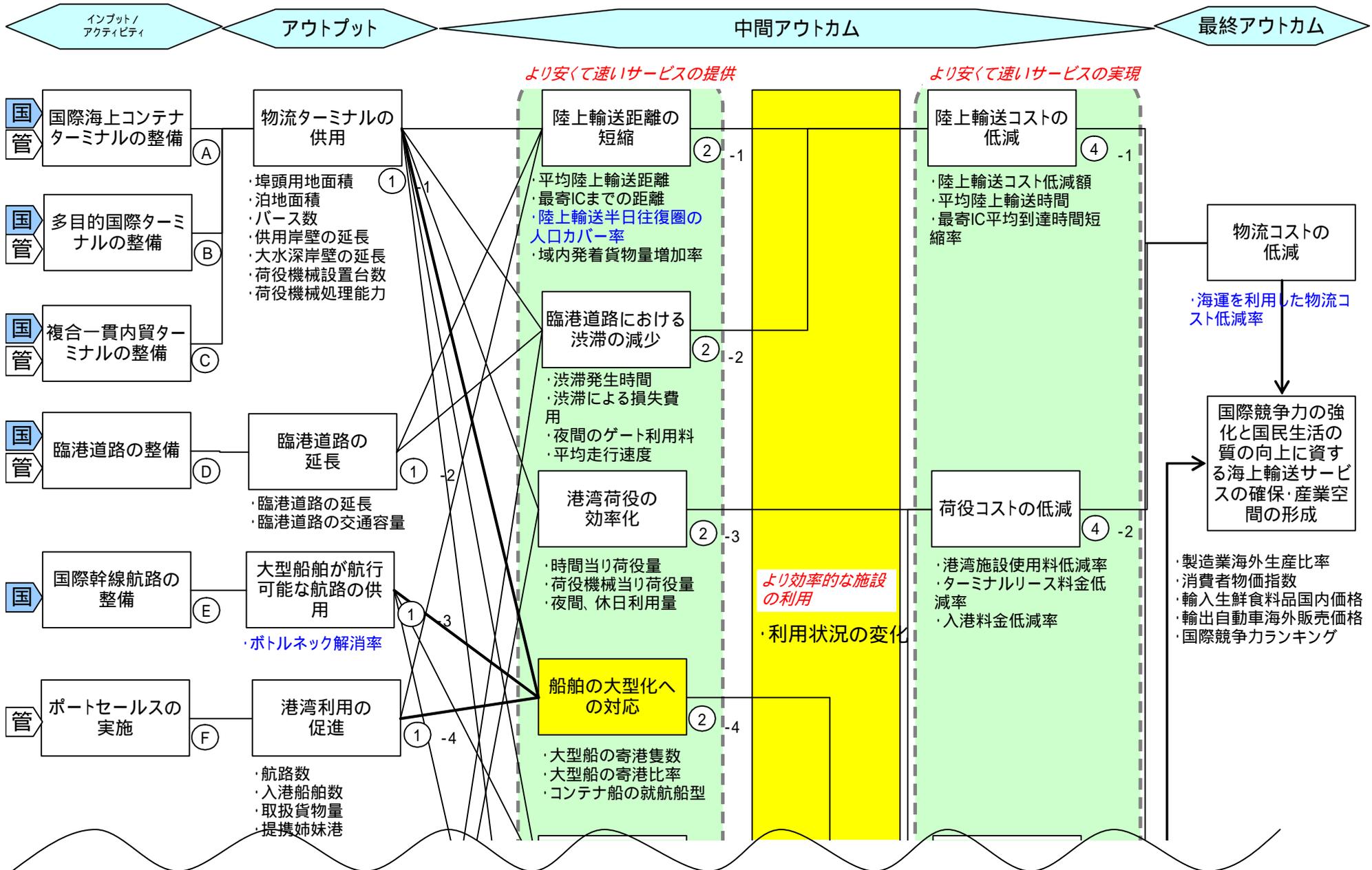
(3) アウトカムに関わる指標候補案の選出

- ・エンドユーザーに限らず、**中間顧客(港湾利用者など)の成果に関わる指標**
- ・競争原理によるベンチマーキングなどを目的とした**全国的な統一指標**
- ・個別の事務所など独自の設定も許す**現場のマネジメントに資する個別指標**

(4) 指標案の選定

- ・アウトカムにとっての重要性や適切性、わかりやすさ
- ・データの収集や費用、継続性
- ・指標の独自性や加算性 など

(参考) 供用段階のロジックモデルとアウトカム候補ならびに指標案(イメージ)



③ 指標並びにフォローアップ(イメージ)

- 指標は、共通指標と個別指標に大別。個別指標は事務所別などに設定することとなる。
- 共通指標でも、国際海上コンテナに関わる指標などは中枢・中核国際港湾などが対象。港湾EDI利用率などは各港湾共通の指標。さらに、施工に関わる指標などは施工ターミナルがある港湾のみが対象。
- 指標のフォローアップは基本的には港湾単位および事務所単位(指標の算出に当たっては、貨物量などバース単位で集計されるものもあれば、港湾EDI利用率のように港湾単位で集計されるものもある)。
- 指標によりフォローアップのタイミングは、四半期毎、年度毎など異なる。

事務所名	港湾名	施設の状況		共通指標(イメージ)						個別指標(イメージ)								
		バース	直轄	補助	供用	指標① コンテナ船の就航平均船型	指標② 港湾EDI利用率	バースの貨物取扱状況に関する指標			予定進捗率の達成度	指標	...	指標(施工中) A事務所のみ	指標(供用中) A事務所のみ	指標 A事務所のみ	指標 B事務所のみ	...
								コンテナ(TEU等)	バルク(t)								
								年度報告	四半期報告	年度報告								
A事務所	A港	1号バース(コンテナ)	○			-	-	-	-	99%			〇〇	-	-	-	-	
		2号バース(多目的)		○		-	-	-	60万トン	-			-	△△	-	-	-	
		3号バース(コンテナ)		○		3500TEU	-	-	20万TEU	-			-	〇〇	-	-	-	
		4号バース(内貿)		○		-	-	-	40万トン	-			-	〇□	-	-	-	
	A港 合計 OR 共通①		○	○		3500TEU	60.0%	20万TEU	100万トン	99%			〇〇	△〇	□□□	-	-	
	B港	1号バース(多目的)		○		-	-	-	-	102%			-	-	-	-	-	
		2号バース(多目的)	○	○		-	-	-	-	103%			△△	-	-	-	-	
		3号バース(多目的)		○		-	-	-	33万トン	-			-	△〇	-	-	-	
		4号バース(内貿)		○		-	-	-	26万トン	-			-	□□	-	-	-	
	B港 合計 OR 共通②		○	○	○	-	45.0%	-	59万トン	103%			△△	〇〇	〇〇〇	-	-	
A事務所 合計 ③(=①+②)		○	○	○	3500TEU	55.0%	20万TEU	159万トン	101%			□□	△□	△△△	-	-		
B事務所	C港	1号バース(コンテナ)		○		4500TEU	-	25万TEU	-	-		-	-	-	-	〇〇		
		2号バース(コンテナ)		○		5500TEU	-	40万TEU	-	-			-	-	-	-	〇〇	
		3号バース(多目的)		○		-	-	-	100万トン	-			-	-	-	-	△△	
	C港 合計 OR 共通④			○		5100TEU	75.0%	65万TEU	100万トン	-			-	-	-	-	□□	
	D港	1号バース(多目的)	○			-	-	-	-	97%			-	-	-	-	-	〇〇
		2号バース(内貿)		○		-	-	-	20万トン	-			-	-	-	-	-	□△
D港 合計 OR 共通⑤			○		-	20.0%	-	20万トン	-			-	-	-	-	-	〇△	
B事務所 合計 ⑥(=④+⑤)			○		5100TEU	45.0%	65万TEU	120万トン	97%			-	-	-	-	-	□〇	

各事務所にて統一的にチェックアップする指標

各事務所にて独自に考え、進捗などをチェックアップする指標

中枢・中核国際港湾における指標(A,C港のみ)

個別の港湾全体毎に算出される指標(各港)

中枢・中核国際港湾における指標(A,C港のみ)

個別のバースデータの積み上げにより算出される指標(毎年報告)

施工中の施設のみにより算出される指標(C港なし)

個別のバースデータの積み上げにより算出される指標(毎月報告)

A事務所の個別指標
 ・施工中のみの指標
 ・供用中に関わる指標
 ・事務事業経費節減など事務所固有の指標 など